

第7回組織開発ラボラトリー

組織におけるグループプロセス・コンサルティング

'Group Process Consulting in Organizations

担当者	メアリー・アン・レイニー 中村和彦（南山大学人文学部心理人間学科教授）
概要	<p>【組織開発（OD：Organization Development）とは？】</p> <p>組織開発（OD: Organization Development）の源流はTグループにあります。1950年代の終わり頃より、Tグループのトレーナー達が、グループへの働きかけの理論やスキルを、企業のミーティング場面でのチーム・ビルディングに応用していったのが、組織開発の始まりでした。</p> <p>組織開発とは、組織の効果性と健全性を高めることをめざした、計画的で長期的な変革の実践であり、組織文化や人的要因（やる気や満足度、コミュニケーション、人と人との関係性、協働性、リーダーシップ、規範など）のプロセスに働きかけるための理論や手法の体系です。コーチング、ファシリテーション、チーム・ビルディング、プロセス・コンサルテーション、フューチャーサーチ、ワールドカフェ、AIなど、個別の手法として日本に紹介、導入されているものも、米国においては組織開発（OD）の歴史と体系のもとに発展してきました。組織開発の発展には、NTL Instituteのメンバー（シャイン、ベック、クハード、アージリス、バークなど）が貢献してきました。</p> <p>日本においてTグループを長年実施してきた当センターとして、米国における組織開発の理論と実践について「ラボラトリー」として体験から学ぶトレーニングを日本で実践することも重要なミッションであると考えています。そのミッションを実現するために、当センターでは、米国NTL Instituteとのパートナーシップに基づき、組織開発の専門家を日本に招聘して、組織開発について体験から学ぶラボラトリーを年1回開催しています。</p> <p>【今年度の組織開発ラボラトリー テーマ】</p> <p>今年度の「第7回組織開発ラボラトリー」は、米国NTL Instituteのメンバー、メアリー・アン・レイニー氏（Mary Ann Rainey, Ph.D）を招へいし、「組織におけるグループプロセス・コンサルティング（Group Process Consulting in Organizations）」というタイトルで実施します。</p> <p>グループに対してどのようにプロセス・コンサルテーションを進めていくかについて、理論と体験から学ぶことができる講座です。プロセス・コンサルテーションはE.シャインが提唱する考え方で、クライアントがプロセスに気づき、自らプロセスの変革に取り組む、その過程を支援するという関わり方です。</p> <p>今回の講座では、参加者は1つのグループになり、1つのセッションにつき、2人の参加者がコンサルタント役を行い、グループのプロセスに働きかけます。各セッション後には、コンサルタントの働きかけについてふりかえる時間が設けられ、他のメンバーや講師からのフィードバックが行われます。</p> <p>当センターでは、2009年度に「グループプロセス・コンサルテーション」を行いました。今回の講座プログラムはその時のものとは異なります。</p> <p>本講座は、組織開発の基本的な考え方や進め方について学んだ後に受講されることをお勧めします。組織開発コンサルタント、ファシリテーター、組織内部の変革推進者など、組織開発について体験から学びながら理解を深めたい方、グループのプロセスに対して働きかける力を高めたい方に最適な講座です。</p>
日程	2016年2月22日（月）14:30開始～2/27（土） 昼食後13:15頃終了（5泊6日）
定員	14名
参加資格	組織開発の基本的な進め方について理解されている、組織開発コンサルタント、ファシリテーター、組織内部の変革推進者など。 ※全体会での小講義や実習の際には通訳がなされます。 ※組織開発に関する講座への参加経験があることを受講の前提とします。 （例：人間関係研究センター主催「組織開発ラボラトリー」；OD Network Japan主催「組織開発基礎講座」、「組織開発体験講座」；関西生産性本部主催「企業内組織開発実践者養成コース」；慶應MCC主催「組織開発論」；日本マンパワー主催「組織開発ファシリテーター養成講座」など。ご不明な点は事務局までお問い合わせください。）
会場	伊勢志摩ロイヤルホテル 〒517-0295 三重県志摩市磯部町の矢字笠取939-6
受講料	220,000円〈税込〉
宿泊費	ツイン利用 54,750円〈税込〉 シングル利用 70,950円〈税込〉 ※現地徴収
メルマガ講座報告	担当講師 中村和彦 記 本センターは、米国NTL Instituteとパートナーシップを結んでいて、NTLメンバーを毎年日本に招へいしています。そして、6日間の組織開発ラボラトリーの開催と、その後の公開講演会の実施を行っています。私はこの期間を個人的に「NTLウィーク」と呼んでいます。 NTLは組織開発サーティフィケート（修了証）プログラムとして9つの研修プログラムを実施していて、その中の1つを日本で実施しています。つまり、組織開発ラボラトリーは毎年違う内容で行われています。 今年の2月22日（月）～27日（土）に伊勢志摩ロイヤルホテルで行われた2015年度の組織開発ラボラトリーは、「組織におけるグループプロセス・コンサルティング」というテーマで、講師はNTLメンバーのメアリー・アン・レイニー氏（Mary Ann Rainey, Ph.D.）でした。参加者は、組織開発コンサルタント、企業に所属する方々、大学関係者など、17名でした。 NTLの組織開発サーティフィケート・プログラムには、今ここに起こっているプロセスから学ぶタイプと、組織開発の理論などのコンテンツを学ぶタイプがあります。今回のコースは前者のタイプです。5泊6日の合宿の中心は、「PCラウンド」と呼ばれていたセッションでした。参加者全員が1つのグループになり、その中の2名がプロセス・コンサルタントとなって、グループで起こるプロセスに目を向けて、働きかけました。PCラウンドは計9回行われ、各セッションでプロセス・コンサルタントを交代していきました。その他、グループに関する講義（グループの発達、ピオンの理論など）やミニ実習が行われました。PCラウンドや講義、小グループでのディスカッションを通して、グループにおけるプロセス・コンサルティングについて学んでいきました。組織の中で重要なシステムがグループであり、グループが効果的になっていくためのプロセス・コンサルテーションの重要性について学ぶ場となりました。 エネルギーに伝え、学ぶためのモデルを示してくれたメアリー・アンさん、グループで起こっているプロセスを通訳するという難題にすばらしく対処してくださった、通訳の加藤美貴子さんと山口めぐみさんに感謝申し上げます。